

進路指導ジャーナル

発行 太高進路部
印刷 東京広告株式会社



本校に与えられた「スクール・ミッション」(期待される役割)について
校長 新部 雅之

4月1日付けで本校に着任致しました。このたびは県内屈指の進学校として知られる本校の校長職に任せられ、たいへん光栄に感じるとともに、その重責に身が引き締まる思いでございます。

さて近年、高等学校を取り巻く動向については新たな動きがみられます。その中の一つが、令和3年3月に学校教育法施行規則等が一部改正されたことにより、全ての高等学校の設置者(教育委員会)に、「スクール・ミッション(各高等学校に期待される社会的役割等)」の再定義が求められたこと等です。このことを受けて、群馬県教育委員会では「第2期高等学校教育改革推進計画」に基づき、県立高等学校の存在意義や期待されている社会的役割、目指すべき学校像などを「群馬県立高等学校のスクール・ミッション」として策定し、広く県民の皆様公表いたしました。

詳しくは群馬県教育委員会のWebページにも掲載されております。さて近年、高等学校を取り巻く動向については新たな動きがみられます。その中の一つが、令和3年3月に学校教育法施行規則等が一部改正されたことにより、全ての高等学校の設置者(教育委員会)に、「スクール・ミッション(各高等学校に期待される社会的役割等)」の再定義が求められたこと等です。このことを受けて、群馬県教育委員会では「第2期高等学校教育改革推進計画」に基づき、県立高等学校の存在意義や期待されている社会的役割、目指すべき学校像などを「群馬県立高等学校のスクール・ミッション」として策定し、広く県民の皆様公表いたしました。



2023年度入試の全国および本校の様子を振り返る。

2023年度入試を終えて

前3学年担任 長谷川 太郎

「2023年度入試の全国および本校の様子を振り返る。」

1. 概況
「大学入試共通テスト」3年目となった今年度入試。昨年度の大幅な平均点ダウンから一転し、数多くの科目が大きく平均点が上がった。それに伴い、多くの受験生が志望校を下げず、第一志望を貫いた印象である。また、近年の経済情勢の影響から、地方国立大への志向も高まりを見せた。さらに、一般入試だけでなく、学校推薦型選抜や総合型選抜を利用する受験生が年々増加してきているが、今年度に関してはその傾向が強く感じられている。

2. 大学入試共通テストについて
志願者は512,581人。これは昨年度と比較して17,786人の減少であり、5年連続の減少となった。さらに、昨年度と比較して、現役生は12,496人、既卒生は5,290人の減少となり、私立大学等での入試形態の変化による開校拡大や、新型コロナウィルスの影響による浪人回避の流れができており、「現役生中心の入試」という傾向が高まっている。

3. 国立大学入試について
国立大学の募集人員80,220人に対して、志願者数は131,401人で、志願者倍率が1.64倍。中期日程(公立大学のみ)では募集人員24,228人に対して、志願者数は31,663人で志願者倍率が1.31倍。後期日程では募集人員16,067人に対して、志願者数は16,067人で、志願者倍率が9.96倍であった。昨年度と比較し、共通テストの平均点増加や、新型コロナウィルス等による経済情勢も考慮し、私立大学に流れず最後まで国立大学に挑戦し続ける受験生が増加した。

4. 私立大学入試について
全私立大学の延べ志願者数は約315万人であり、昨年度と比較して約22万人と減少した。その要因としては以下の4つが考えられる。①18歳人口の減少②学校推薦型入試や総合型選抜入試を利用する受験生の増加③私立大学一般入試の入学者定員数の減少④経済情勢の影響から、地方国立大学志向の高まったことである。

5. 最後に
今年度の受験生は、入学時より新型コロナウィルスの影響を大きく受け、2度の分散登校(高1の4月、高2の9月)を経験している。また、大学等のオープンキャンパスも、会場実施がなされた大学はほとんどなかった。そのため、職業、大学、学部、地域といった進路を考える機会も失ってしまっている印象である。そんな中、あつた田田高校の生徒達は、高い目標を持ち、最後まで第一志望をゆずれず受験をしてくれた。また、借しなくても、「3年間田田高校で学ぶことができて良かった」「受験に後悔はありません」「来年必ず受かります」といった言葉をもらい、田田高校での3年間は、生徒たちを大きく成長させるのだったと実感した。これから受験を控えている現役生にも、是非とも「こだわり(大学・学部・場所等)」を持って学習に取り組んでほしい。そして最後まで諦めないという強い意志で挑戦してほしい。

令和5年度入試 大学・大学別現役合格者数

区分	大学名	人数	区分	大学名	人数	区分	大学名	人数
国立	北見工大	1	私立	足利大	2	国立	大東文化大	17
	北海道大	4		国際医療福祉大	4		拓殖大	2
	東北大	14		自治医大	1		玉川大	2
	秋田大	1		獨協医大	3		中央大	29
	福島大	2		白鷲大	6		帝京大	7
	茨城大	4		共愛前橋国際大	5		東海大	23
	筑波大	5		高崎健康福祉大	11		東京経大	3
	宇都宮大	1		高崎商大	2		東京工大	1
	群馬大	33		群馬医療福祉大	1		東京電機大	13
	埼玉大	10		群馬バース大	2		東京農大	2
	千葉大	5		埼玉工大	7		東京理大	22
	電気通信大	1		城西大	3		東洋大	33
	東京大	2		駿河台大	1		日本大	40
	東京工業大	1		獨協大	16		法政大	29
	東京農工大	1		日本工大	5		星薬大	1
	横浜国立大	5		文教大	19		東京都大	5
	新潟大	5		千葉工大	29		武蔵野大	3
	富山大	3		東京歯大	1		明治大	32
	(うち医学部医学科)	1		東京情報大	1		明治学院大	2
	金沢大	4		青山学院大	12		明治薬大	4
山梨大	2	亜細亜大	2	明星大	3			
信州大	4	桜美林大	1	立教大	8			
名古屋大	1	学習院大	5	早稲田大	17			
京都工芸繊維大	1	北里大	6	神奈川大	6			
小計	110	杏林大	1	神奈川工大	3			
公立	前橋工大	3	慶応大	10	関東学院大	5		
	高崎経大	13	工学院大	2	昭和音大	1		
	東京都立大	7	国学院大	5	洗足学園音大	1		
	新潟県立大	3	駒澤大	22	静岡理工科大	1		
	福井県立大	1	芝浦工大	31	愛知淑徳大	2		
	都留文科大	1	順天堂大	2	藤田医大	1		
	名古屋市立大	1	上智大	2	立命館大	9		
	和歌山県立医大	1	昭和薬大	2	龍谷大	1		
	周南公立大	1	成蹊大	3	近畿大	1		
	小計	31	専修大	23	小計	579		
			創価大	1	小計	1		
			大正	1	合計	721		

「大高生の平均点であるが、文系5教科8科目型では575.7点(全国平均530.0点)、理系5教科7科目型では598.0点(全国平均548.0点)であった。全国的な平均点上昇の波に本校生徒も乗り、国立大学出願へ向けやすいスタートができた。

次に理系では、工(指数95)、理(指数99)が減少し、特に地方国立大学での減少が目立った。また近年ウクライナ問題にも関連して、世界的な食糧問題が注目を集める中で、農水産(指数102)は年々増加している。さらに、文系でも述べたように、職業への直結が特に顕著である医(指数105)、歯(指数109)、保健衛生(指数103)、薬(102)はどれも増加傾向にある。

最後に文理系では、スポーツ・健康(指数92)、生活科学(指数105)、総合化学(指数104)、芸術(103)、教員養成・教育(指数102)であった。本校の状況を説明する。現役の国立大学合格者は141名であった。この5年間で2番目に多い合格者となった。難関国立大学の合格者は22名(北海道4名、東大2名、東北14名、東京工業1名、名古屋1名)であった。1年次より「第一志望はゆずれない」という指導をしてきたことにより、例年受験直前期に志望変更する生徒がいる中で、高い志望を持し、最後まで挑戦し続けた姿勢を呈した。最後まで現の姿で、国立大学への強い進路実現のため、気持ちを切り替えずに多くの生徒達が中期・後期日程を受験し、44名が合格した。やはり、最後まで諦めない気持ちを持つことの大切さを改めて実感した。

次に学部系統別に分析を行う。まず文系では、新型コロナウィルスや、世界的な物価上昇により留学等に影響がでる事が起因し、国際関係(指数88)や外国語(指数90)が大幅に減少した。さらに人文科学(指数85)が減少した。一方、福祉関係の学部・学科が含まれる社会(指数104)や経済・経営(指数104)は増加している。これは学部での学びが職業に直結しやすいからかという事が原因ではないかと考えられる。

次に、主要大学において志願者数の増減を分析する。学習院大学(プラス1473人、指数109)、駒澤大学(プラス1502人、指数105)、上智大学(プラス4049人、指数118)、中央大学(プラス2991人、指数105)、日本大学(プラス4736人、指数105)、明治大学(プラス5616人、指数105)と志願者数が増加したのに対して、青山学院大学(マイナス3891人、指数92)、慶應義塾大学(マイナス483人、指数99)、専修大学(マイナス1629人、指数97)、東京理科大学(マイナス3054人、指数94)、東洋大学(マイナス11080人、指数89)、法政大学(マイナス9308人、指数91)、立教大学(マイナス4438人、指数93)、早稲田大学(マイナス2964人、指数97)は志願者数が減少した。これは上記でも述べたように、一人あたりの受験校数が減少したことが原因と考えられる。以前であれば、最難関である早稲田大学、慶應義塾大学は両方受験、難関私大では、明治大学、中央大学、立教大学、青山学院大学などは、ほとんど受験するといった考えが主流であったが、現在では受験校を絞って受験する流れに変化してきており、この流れは今後も継続されていくと考えられる。

2023年度

大学受験アンケート

この春、太田高校での三年間の奮闘を終えた卒業生達が、心身共に逞しく成長し、新たな道へと旅立った。この卒業生たちは、入学当初より新型コロナウイルスによる影響で、学習や学校行事、部活動などあらゆる面で大きく制約を受けた。しかし、感染防止の生活のなかでも、太田ブランドを持ち、物事に對して自ら考え、工夫し、最大限に努力の結果としての合格が掲げられている。その合格の裏には、苦悩や葛藤を抱えながらもたゆまぬ努力を重ねた者たちの軌跡が刻まれている。在校生の諸君にはそれらに先駆けた姿を想像し、次は自分たちの番だと決意を新たに、太田高校の伝統を引き継いでいって欲しいと願う。

卒業した先輩達の軌跡を後輩の在校生諸君にも活かしてもらおうと、このコーナーでは受験を戦った先輩からその軌跡を先輩達にメッセージをまとめてみた。特に多い回答には◎がついている。これからの勉強計画に活かすだけでなく、思い悩んだときの糧としてもぜひ活用してもらいたい。新たな太田高校の伝統の1ページを、そして各々が納得のいく進路実現を果たすことを期待している。

①「志望校合格に向けて やってきたこと」

- ◎勉強(多数)
- ◎基礎固め(多数)
- ◎過去問を繰り返し解く。傾向をつかむ。赤本をしっかりとやる(多数)
- ◎数学、英語の勉強
- ◎毎日勉強する習慣を身につける
- ◎早期から受験勉強を始める(多数)
- ◎ひたすら勉強(多数)
- ◎時間管理、計画的な学習
- ◎大学について情報収集
- ◎先生に添削してもらおう
- ◎隙間時間を有効に使う
- ◎苦手教科の克服
- ◎共通テスト対策
- ◎SNSやYouTubeの利用を制限する。または、やらない
- ◎学校や塾の学習室を利用する
- ◎自分を信じる
- ◎最後まであきらめない
- ◎文法、単語を完璧にする
- ◎規則正しい生活

- ・英語の長文記述演習
- ・英検2級の取得
- ・サボりたい欲との格闘
- ・体調管理に気をつけた
- ・インプットとアウトプット
- ・1年からの日々の勉強です
- ②「太田の指導で役立ったことや効果があったもの」
- ◎授業(多数)
- ◎各教科からの課題(多数)
- ◎各教科の課外授業(多数)
- ◎習熟度別授業
- ◎数学の授業と課題
- ◎長期休みの課外
- ◎問題演習
- ◎面接指導
- ◎共通テスト演習(多数)
- ◎特編授業
- ◎添削指導
- ◎小論文・面接指導
- ◎学習室
- ◎過去問演習
- ◎1年の時から入試問題を解かせてくれた
- ・学力テスト
- ・懺悔
- ・毎授業でのリスニング
- ・物理課外・数学添削
- ・4STEP
- ・入試前の生活習慣について
- ・土曜課外・放課後課外
- ・朝の自習室
- ・F先生の倫理政経の課外授業
- ・I先生の数学
- ③「太田の指導で役立ったなかったこと」
- ◎特になし(多数)
- ◎土曜課外(多数)
- ◎朝課外(多数)
- ◎レベルに合わない課題
- ◎私文の時間割がなかったこと

- ・共テ演習
- ・スタサポと進研模試
- ・LEAPの提出用ノート
- ・使わない教科の課題
- ・数学が苦手な人のための講座が欲しかった
- ・難易度の高い授業
- ④「実際に大学受験を経験した感想を自由に書いてください」
- ◎緊張した(多数)
- ◎大変だった。疲れた(多数)
- ◎つらい、きつかった(多数)
- ◎楽しかった(7人)
- ◎めっちゃ楽しかった(1人)
- ◎練習で出来ても本番だとなかなか出来なくなる
- ◎浪人生との戦いと感じました
- ◎怖い(複数)
- ◎難しい(複数)
- ◎頭が真っ白になったら立て直すまでに時間がかった
- ◎長い間、精神に負担がかかる想像以上に落ちる
- ◎前日は不安になるし、会場の受験者は頭がいいように見える
- ◎先生が、耳にタコができるほど口を揃えて言ってくるのは、それだけの理由がある
- ◎人生の良い経験
- ◎周りの受験生に圧倒された
- ◎受験で必要なのは基礎力、忍耐力と感じた
- ◎三年生からの受験勉強はキツイ
- ◎継続して努力する大切さを感じた
- ◎共通テストが1番緊張した
- ◎何があるかわからない
- ◎英語が大事
- ◎めっちゃ大変でした
- ◎ホテルはあまり寝付かなかった
- ◎ストレスかかった
- ◎かわいの子がたたくさう動揺した
- ◎面接がある人は順番によって4時間ほど待つ可能性もあることは、頭に入れておくといふと思う
- ◎模試とめっちゃ似ていた
- ◎大学ごとに結構受験の雰囲気違う
- ◎前日の緊張とプレッシャーが半端ない
- ◎精神的にしんどかった
- ◎深呼吸で落ち着く方法が効いた
- ◎親と一緒にくる人も結構いる
- ◎自分の性格上、サボりがちなものでも少し早く始めればと感してた
- ◎高校受験とは環境や雰囲気全く違った
- ◎意外と緊張しなかった
- ◎みんなで合格を勝ち取りに行く感じが胸熱でした
- ◎テスト後のご飯がめっちゃ美味かった
- ⑤「後輩に向けたメッセージ」
- ◎早く受験勉強を始める(多数)
- ◎今からやれ(多数)
- ◎頑張れ(多数)
- ◎英語をやれ(多数)
- ◎日々の積み重ねが大事
- ◎指定校とつたほうがいい
- ◎途中で悟りを開こうとせずに勉強し続けてください

自分のための学び

三年主任 青木 紀仁

「なぜ勉強をしなければいけないのか?」私が高校生の時、そんなことを思いながら過ごしていたのを覚えている。当時は部活動が活動の中心となっていて、学習に對しての意欲があまり沸かなかつた。大学受験のためだと思っても学習に取り組みなかつた。もちろんその影響もあり、成績は伸び悩んで、現役での大学合格は実らなかつた。

しかし、浪人したときにその疑問が解消された。それは、自分の目指すべき目標が定まったからだ。目標を達成するために自分から学習を始めたことで、勉強の必要性に気づいた。太田高校生にこの話をすると笑われそうだが、自分が必要とする学習内容を決めよう。

「地頭が良いから」と言っている奴は失敗します。大学をしっかり調べる。日東駒専、MARCHを舐めてるな。勉強仲間を作ろう。数学は文系でもやろうね。新3年、基礎基本が出来てないとマジでヤバいです。急いで確認。新2年、まだ間に合う。だがギリギリだと思った方がいい。新1年、とりあえず与えられた事をこなす事を考える。習慣化することが大切、毎日勉強しよう。

自分を信じて継続する事が大切。自分にとって最大限有利な入試方法を考えよう!

志望校はマジで早く決めろ!!今の授業や、テストで得点出来るように頑張れば、志望大学の出題傾向と異なっても、平気なくらい学力がアップ。

国数英は早めやる。後になって一気にやろうとしても出来ない(実体験)。苦手な科目も頑張って覚える。緊張し過ぎるな、死ぬわけじゃない。共テ利用は出しておいた方がいい。基礎を固める事が1番大事。学習環境が重要。覚悟してやれね。英検は取っとけ。わからないところはできるだけ早く潰さないと痛い目を見る。自分の実力に見合った参考書、問題集をやるべき。スマホのめり込むな。しっかりと対策をした者が合格する。受験は何が起ころうか分からないので、1分でも多く勉強しておこう。部活を最後まで続けることは、受験勉強を最後まで諦めないで続けることに通ずる。1日の勉強する内容を決めて勉強しよう。

- ◎遊べるうちに遊んだけ!
- ◎早め早めの対策が大事です
- ◎現時点で思っているよりも志望校のレベルは高いと思ってください。くれぐれもなめてかからないように。模試の判定甘すぎる
- ◎「保護者へ感謝していること」
- ◎毎日のご飯やお弁当を毎日作ってくれたこと(多数)
- ◎3年間の送り(塾・学校等)(多数)
- ◎精神面、生活面で支えてくれたこと
- ◎体調管理に気をつけてくれたこと
- ◎金銭的支援(多数)
- ◎自分のやりたいようにやらせてもらえたこと
- ◎塾に通わせてくれたこと
- ◎自分の勉強がうまくいかなかったときにいつも励ましてくれたこと
- ◎家庭学習時に静かにするように気を遣ってくれたこと
- ◎プレッシャーをかけないでいてくれたこと
- ◎一国立に受からなければ」と躍起になっていた自分を「金の心配はすんな」となだめてくれたこと
- ◎ホテルの予約など試験以外の手伝い厄敵い
- ◎陰ながら応援してくれたこと
- ◎快適な学習環境を整えてくれたこと
- ◎言葉では表現できない産んでくれたこと
- ◎私立でも許してくれたこと
- ◎受験の難しさを理解してくれたこと
- ◎勉強に一切口出しをしなかったこと
- ◎鬱になりにかけたかもしれない時に励ましてくれたこと
- ◎「保護者に対して「ちよっと嫌だったなあ」と感じたこと」
- ◎「特になし(多数)」
- ◎うるさい
- ◎「勉強しなさい」と言うこと
- ◎プレッシャーをかけてくる(多数)

「おもしろい」と奥の方

進路指導部 新井 悟

先日、普段はあまり訪れない地域で夕食を食べる所を探そうと思ひ、スマートフォンで口コミや評価や検索している時に、なんと自分はこの様なことをしているんだらうと思ひ手を止める瞬間があった。自分の食べたいものなのに、どこかで誰かが答えを出してくれているのではないかと期待してネットの中を探っている。夕食を食べる場所を何十分もネットの中をさまよった挙げ句、何も決められずにいる。このタイミングで来るかと思つたが、スピーカーからは「見てきたものや聞いたことイマまで覚えた全部」でためらった。たまたま「ザ・ブルーハーツか懐かしさ」と同時に、置かれた状況があまりにもおかしな笑ってしまった。

自分の食べたものはスマホではなく、自分に聞いたらいいではないか。ネットの情報はたまたまかもしれないではないか。スマホなどな

かつた時代には、通りすがりの店を見つけてここに入ろうと決めていたではないか。たいていのお店では美味い食事を提供してくれている。想像以上に美味しく驚くこともある。ごくまれに、不味いものに出くわすこともあるが、それもまた話の種となる。考えれば別の意味でおいしいはずだ。

相変わらずオーディオから流れてくる歌詞に背中を押されて、自分の食べたいものは自分で決めると心に決めて車を発進させた。夕食に何を食べるか決めることくらいで大げさな事、夕食以外でも答え探しに夢中で何も進まないという状況に陥っていることは多い。ちよっと冒險してみることが減っているかもと自戒の念に駆られながら、地元の人に愛されていそうな店に飛び込んだ。不味く失敗したという結果も十分あり得ただろうが、想像を超える美味しさに出会うことができた。失

敗したらそのとき考えればいいという開き直りみたいなものもひっそりある。冒険してみることで得られるものがあるんだと再認識することができた。

そういえば太田高校のグラウンドデザインの中に、育てたい資質・能力に「失敗力」という言葉がある。あれこれ先を考えて動けなくなっているより、失敗するのが当たり前、失敗したら修正すればいい、それより一歩踏み出してみよう、君たちの背中を押してくれる言葉だ。一歩踏み出せば、成功も失敗もある。そういうものだ。「なるべし」な不幸せと、なるべく小さな不幸せ。なるべく小さく集めよう。それら1つ1つを糧とすればいいのだ。そうすれば、答えはスマホの中や誰かが用意してくれているものではなく、自分の中にあることが見えてくるのではないかと。令和5年度が始まりました。新型コロナウィルス感染症対策のための制限も大幅に緩和されます。太田高校生が「夢は大きく志は高く」の精神のもと、まだ出ていない答えを求めて「文武両道」を実践してくれることを願ってやみません。

「なぜ勉強をしなければいけないのか?」私が高校生の時、そんなことを思いながら過ごしていたのを覚えている。当時は部活動が活動の中心となっていて、学習に對しての意欲があまり沸かなかつた。大学受験のためだと思っても学習に取り組みなかつた。もちろんその影響もあり、成績は伸び悩んで、現役での大学合格は実らなかつた。

しかし、浪人したときにその疑問が解消された。それは、自分の目指すべき目標が定まったからだ。目標を達成するために自分から学習を始めたことで、勉強の必要性に気づいた。太田高校生にこの話をすると笑われそうだが、自分が必要とする学習内容を決めよう。

「地頭が良いから」と言っている奴は失敗します。大学をしっかり調べる。日東駒専、MARCHを舐めてるな。勉強仲間を作ろう。数学は文系でもやろうね。新3年、基礎基本が出来てないとマジでヤバいです。急いで確認。新2年、まだ間に合う。だがギリギリだと思った方がいい。新1年、とりあえず与えられた事をこなす事を考える。習慣化することが大切、毎日勉強しよう。

自分を信じて継続する事が大切。自分にとって最大限有利な入試方法を考えよう!

志望校はマジで早く決めろ!!今の授業や、テストで得点出来るように頑張れば、志望大学の出題傾向と異なっても、平気なくらい学力がアップ。

国数英は早めやる。後になって一気にやろうとしても出来ない(実体験)。苦手な科目も頑張って覚える。緊張し過ぎるな、死ぬわけじゃない。共テ利用は出しておいた方がいい。基礎を固める事が1番大事。学習環境が重要。覚悟してやれね。英検は取っとけ。わからないところはできるだけ早く潰さないと痛い目を見る。自分の実力に見合った参考書、問題集をやるべき。スマホのめり込むな。しっかりと対策をした者が合格する。受験は何が起ころうか分からないので、1分でも多く勉強しておこう。部活を最後まで続けることは、受験勉強を最後まで諦めないで続けることに通ずる。1日の勉強する内容を決めて勉強しよう。

い。私がこのことを考えるとき、あの学園ドラマでの台詞の一節をよく思い出す。「高校生が多くの教科を勉強するのは、自分にとっての宝物を探すためだ。」という台詞である。きれいな言葉すぎて少し体がむずむずするが、多くの教科を勉強することとは目標を探するための手段であり、新しい自分の発見に繋がると訴えているように感じる。この宝物は大学に合格したからといって得られるものではなく、ずっと先の人生で発見するものである。つまり、高校での勉強は受験のためだけでなく、自分の将来を形成するのに必要であり、これもまた「自分のための学び」なのではないかと考えている。

太田高校生の高校生活は、日々の課題や受験勉強、部活動に追われて毎日が大変だと思う。その忙しさの中で、ふと「なぜ勉強しなくてはいけないのか?」と考え始めてしまったらこの話を思い出してほしい。「自分のための学び」と意識することで毎日の学習の励みになってくれることを期待している。

◎「口出しが多かったこと

- ・学習室を気にしすぎている
- ・自習室で勉強したあと家に帰ってきても「勉強したほうがいいよ」や「○○やった?」「○○やったほうがいいよ」などやってくる
- ・関わらず自分の不安を解消したいがために子供に對して勉強を強制していたこと(多分)が病みそうになった
- ・十分頑張っているから、自分のペースでやらせてほしかった
- ・酒に酔って勉強について長々話ること
- ・自分以上に心配していたこと
- ・受かりそう?って毎日聞いてくるのがだるかった
- ・受験に興味が無すぎる
- ・受験結果に一喜一憂すること
- ・受験勉強しているときに予備校の話をする
- ・成績の上下で騒ぎすぎて傷ついた
- ・二次試験が終わったあとに答え合わせしよつとしてきたこと
- ・落ちたら働けと言われたこと
- ・勉強内容に干渉してくる
- ・無駄な期待
- ・判定について口を出してくること
- ・度々部屋に来る事
- ・食事の場で勉強の話をしてきたこと
- ・飯が不味くなる
- ・周りの人の意見に影響を受けていたこと
- ・自分の理想であそいけこいけとしつこく言われること
- ・「進路に文句はないけど」と言いながらとやかく言ってきたこと
- ・「そんなに受かるの?」と言われたこと